

## 2013 北海道 旅ログ その2

### 2日目

年寄りには早起きだなんて認めたくはないが、7時には目覚めてしまった。予定では11時頃ごろそと起きだすつもりだったのに。

仕方がないから朝食に行こう。熊本のベテランさんによると、朝は安いから食べていおて、昼夜を節約した方がいいとのこと。

ごはん、味噌汁、目玉焼き、納豆で580円。まあ船内食としては安い方か。

さて、船は曇天の中を進んでいる。札幌の予報は雨だったから、雨に向かって進んでいることになる。ちょっと気分が萎える。



展望ロビーに峠幾三さんがいたのでしばらく話し込み、展望風呂に入る。

船主催のビンゴ大会には参加せず、そのまま一眠り。お昼過ぎに起きだしてカップ麺の昼食。映画をやっていると小倉の技師さんが言うので見に行った。知らないタイトルの洋画だったが、笑ったり、ほろりときたりのいい映画だった。映画が終わると、辺りはもう暗い。展望ロビーの透明な天井にはライトに照らされた雨がはっきりと見える。気温も低い。こんな中、21時に上陸なんてやはり気分が萎えてしまう。できれば上陸は朝がいい。その方が「さあ、走ろう！」という気になる。

車両甲板で、みんなと別れを惜しみつつ、下船開始。

小樽港は曇り空で、これなら本日の宿、札幌のホテルまで楽勝だと思った。



小樽上陸

いよいよ走り始めると、先に行く熊本のベテランさんが健康センター「エスパ」へ入っていくのが見えた。そこは、港からほんの数メートルの所にあり、下船したバイクはそこで一夜を明かすことが多いそうだ。私は小倉の技師さんからそのことを聞いたのだが、それを知っていればわざわざ札幌に 1 万円も払って宿を取っておく必要はなかった。早い段階から着日の予報は雨だったし、21 時着だったから、事前にホテルを予約しておいたのだ。ちなみにエスパは入場料 800 円、宿泊券（8 時半まで）1,200 円の合計 2,000 円で泊まれるそうだ。門前にはコンビニもあり、便利がいい。

熊本のベテランさんを見送りながら、札幌を目指す。国道 5 号は、小説ページにアップしている「あの暑い夏の陽に」当時のイメージしかなく、細くてカーブの多い記憶があったのだが、拡張され、バイパス化していて、まったくの予想外だった。などと思っていると雨が降り出し、長いトンネルをくぐると、そこは大雨だった。バス停を見つけてバイクを止め、ポンチョを取り出し着用する。ブーツカバーを着用する。手袋カバーを着用・・・、あれ何か変だ。指が通らないと思っていると、びりっと破けた。motofizz 製の立派なやつなので安心していただけだったが、考えてみると今のスカブを買って 7 年間トランクにしまったまま一度も使っていない。いや、それどころかそのカバーはその前から使っ

ていたの、ゆうに10年以上昔のものだ。経年劣化に加え、おかしな熱によって溶けていた。溶けた穴からどうしても指が飛び出す。仕方がないからそのまま走った。宿に着いたらビニールテープで補修しよう。



ついに札幌キター

ホテルは案外すぐに分かった。

すすきののど真ん中。

地下駐車場にバイクを停めてチェックインする。

せっかく札幌に泊まるのだからと街に繰り出す。

まずは札幌タワーを目指す。

大通公園は、何かのイベントをやっているようでたくさんのテントが建っていた。

「夏の陽」当時の面影を求めてその辺りを散歩する。暗いからよく分からないが、この辺りはそんなに変わらないように思えた。

すすきのに戻る。



ほんの3ブロックくらいだ。



有名なウィスキーのサインは意外と小さく感じた。  
で、どこかの居酒屋にでもと思ったが、もう遅いからラーメン横丁だけでいいかと思い、向かった。新と元祖とあるらしいので元祖に行った。



狙いは一本。ずばり「味噌バター」。

いろいろ見て回り、安くてお客さんが多い店に入る。



バターコーン味噌 850 円

「うまい！」

10人中9人はうまいと言うはずで、万人受けする味をこの高い次元で実現するなど、さすがラーメン横丁だ。

ホテルに帰り、手袋カバーの補修を始める。

よく見ると右手の方だけ、人差し指、中指、薬指にかけてどろどろに溶けて穴が空いていた。トランクのどこかよほど熱い部分にあたったのだろう。

明日も雨だろうから入念にビニールテープを巻き付けた。

その2 終わり。その3へ続く